

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	橋りょう耐震整備事業	会計	一般会計	事業No.	561	施策順No.	41-012
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-5-10-2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	41 災害対策の推進		事業期間	開始	15	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	防災計画に指定されている緊急輸送路に関わる橋梁						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		対象橋梁数:橋	40	40	40	40	40	
	意図	地震発生時、落橋を防止し、緊急輸送路を確保する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	工事完了橋梁数:橋	22	26	34	36	35	40	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	平成22年度、設計・施工予定で有った、富田沢橋は、耐震補強設計の観点から全国的に事例の少ない橋梁形式のため、独立行政法人土木研究所に技術相談をお願いするなど、したため、補強工法が決まらず目標に達成できなかった							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	長野県及び飯田市の防災計画に指定されている緊急輸送路に関わる橋梁の耐震整備。 一次調査の結果をうけ、詳細設計及び補強工事を実施。 全57橋中40橋落橋防止工事実施		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 調査診断 2 詳細設計 3 補強工事	1 調査診断 2 詳細設計 3 落橋防止工事	1 4橋 2 5橋 3 5橋
23年度実施計画	1 補強工事	1 耐震補強工事	1 1橋

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					(地)防災対策(充当率90%) (そ)橋りょう耐震整備事業負担金 22→23繰越明許費23,090千円
	起債	25,000	4,200	23,800		
	その他	21,300	21,300			
	一般財源	2,796	504	2,700		
	計(A)	49,096	26,004	26,500		
	正規職員所要時間		480			
	臨時職員等所要時間		20			
	人件費計(B)		1,738			
	トータルコスト A+B		27,742			

4 事業に対する市民や議会の意見

議会から強い要望がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞業者、財産の災害や火災の被害を軽減する	施策の成果指標又はムツ指標	市民が災害にそなえている割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	長野県及び飯田市の防災計画に指定されている緊急輸送路に係る橋梁の一次調査の結果、耐震補強工事を実施し緊急輸送路の確保ができた。		
	後期に向けた課題	未整備な橋梁の落橋防止工事を進め、下部工等の診断整備も進める必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	指定路線に関わる橋梁の落橋防止工事を実施したことにより、地震発生時での、落橋を防止して、緊急輸送路を確保することができる		
	後期に向けた課題	未整備の橋梁については引き続き整備が必要であり、また地震発生時の落橋以外の耐震調査を行い整備することにより緊急輸送路の確保が向上できる		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	工法の検討によるコスト削減を図る。		
	後期に向けた課題	工法の検討や効率的な事業実施によりコスト削減を図る		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市道の橋梁であり管理者として、橋梁の管理を行う。		
	後期に向けた課題	市道の橋梁であり引き続き橋梁管理者として、関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	① 橋梁の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。② 橋梁管理者としての安全確保のための橋梁長寿命化修繕計画策定。		
	後期に向けた課題	① 橋梁の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。② 橋梁管理者としての安全確保のための橋梁長寿命化修繕計画策定。		
全体を通じて	4年間の振り返り	長野県及び飯田市の防災計画に指定されている緊急輸送路に関わる橋梁の内、落橋防止装置の設置が必要な橋梁の整備が順調に進んだ。		
	後期に向けた課題	落橋防止整備完了後は、橋梁長寿命化計画と合わせて、橋台・橋脚などの耐震補強を図る必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------